

# さまざまな測地技術で高さをはかる

担当教員：宮崎真一・福田洋一（理学部）・西村卓也・橋本学（防災研・地震予知研究センター）

和歌山県白浜市は南海トラフの沈み込みに伴って変動しています。特に上下変動はプレート間の状態を知る上で非常に重要な観測量です。本演習では、水準測量・GNSS 測量・重力測定などいくつかの観測により、防災研究所白浜海象観測所（和歌山県白浜市）の新旧観測棟の基準点間の高さの差（比高）を測定します。また、取得したデータ解析を行い、観測手法間で比高を比較したり、GNSS については昨年度以前のデータとの比較により地殻変動を求めたりする予定です。各手法で得られる比高は一致するのか、一致しない場合は何が原因なのか、考察を深めてもらえることを期待しています。

- 8月～9月中（1回、日程は相談）：実習ガイダンス，測地観測の練習
  - 9月27～29日：南紀白浜における測地観測（水準、重力、GNSS 測量），巡検など
  - 10月～11月の計3～4回：水準・重力データ解析
  - 12月～1月の計3～4回：GNSS データ解析
  - 最終回：解析結果のまとめ・関連分野の最近の話題等に関する講義
  - その他：京都市市民防災センターの見学（課題演習 DC 地震グループと合同）
- ※ 本演習は学生の理解度を考慮しながら進めます。上記の予定に含まれていない講義や参考資料の輪読，Unix の基本操作に関する実習などを行うことがあります。

